

## 事前アンケートでいただいた質問に対する講師の回答

## 質問 1

Q: ホームページなどを作成しても閲覧できる会員が少ない場合、デジタル化の意味がないのでは？

A: デジタル化は、情報をより多くの人に届けるための手段です。ホームページだけでなく、メールや SNS を使った情報提供も可能です。少しずつ使い方に慣れていただくことで、便利さを感じてもらえるようになると思います。

## 質問 2

Q: 新機能の内容楽しみにしています。

A: 新しい機能として、ウェブサイト全体がスマホ対応になりました。マップや自治会データベースなど簡単に操作できるようになっています。

## 質問 3

Q: 何回か研修会で使い方を聞かないと 1 回だけでは難しいと思われる。

A: 何度も練習することで身につくものです。研修会は、ご要望により今後も続けたいと思います。

## 質問 4

Q: 各自治会の HP は自前で作るのですか？市でサイトを提供していないように思う。

A: 現在、旧ウェブサイトでは各自治会のブログを用意しています。新ウェブサイトの移行に伴い、新ブログを希望する自治会は引き続き利用することが可能です。

## 質問 5

Q: 当自治会の年齢構成や会員数の現状ではデジタル化の取り組みは容易ではないと思われます。

A: その通りだと思います。全員が無理なく使えるように、段階的な導入を目指すとよいと思います。例えば、紙とデジタルの併用期間を設けることで、少しずつ慣れていただくことができます。

## 質問 6

Q: 社会全体でデジタル化の気運が高まれば、検討せざるを得ないことと考えます。

A: 確かにそう思います。地域全体でデジタル化を進めることが重要です。そのため、他の自治会とも協力しながら進めていくのも一つの方法だと思います。

## 質問 7

Q: 自治会内に閉じた、会員向け情報利用が可能か。

A: 自連協ウェブサイトでは出来ませんが、LINE ワークスを使うと可能です。利用している自

治会は複数あります。メンバーだけがアクセスできるグループを作ることで、安心して情報を共有できます。

#### 質問 8

Q: 個人情報保護規定と自治会はどう関わるのか?

A: 自治会も個人情報を扱うため、個人情報保護規定を定めることが望ましいです。シンプルなガイドラインを用意し、守るべきルールを明確にするとよいと思います。

(「自治会活動・運営お役立ちマニュアル」P11~12 参照。規定の見本などは、市民生活課へご相談ください。)

#### 質問 9

Q: デジタル化の概要とその手法について。

A: デジタル化とは、紙の情報を電子化することです。具体的には、会議の案内をメールで送ったり、LINE ワークスで情報を共有したりします。予算も計画的に考えながら進めるとよいと思います。

#### 質問 10

Q: 自治会 HP を立ち上げる手順と市のウェブサイトとの関連について。

A: 自治会 HP を立ち上げなくても、自連協ウェブサイトのブログを使うと簡単に情報発信ができます。自治会 HP がある場合、自連協ウェブサイトにはデータベースがあるので、リンクでつなぐことが出来ます。

#### 質問 11

Q: 自治会情報化の相談窓口の設置。

A: 市民生活課が相談窓口となりますので、お気軽にご相談ください。

#### 質問 12

Q: 自治会費のキャッシュレス化の具体的な方法と諸経費について。

A: キャッシュレス化には、銀行振込や集金システムを利用します。手数料などもかかりますが、安全性と便利さを考慮して進めるとよいと思います。

(自連協で今年度試行している会費ペイなどがあります。)

#### 質問 13

Q: LINE ワークスの設定と効果的な運用事例について。

A: LINE ワークスを使って自治会の連絡をスムーズにするツールです。設定も簡単で、すでに使っている自治会では好評です。

#### 質問 14

Q: 自治会 ICT 化の進め方。

A: 段階的に進めます。まずは簡単なメールや LINE ワークスの使い方から始め、少しずつ幅を広げるとよいと思います。

#### 質問 15

Q: 旧サイトの各自治会の投稿は「ブログ機能」の認識で合っているか？

A: はい、その通りです。ブログのように使うことができます。

#### 質問 16

Q: 現在ある HP の移行は出来ますか？

A: 移行方法は、新サイトへ再投稿する必要があります。

#### 質問 17

Q: 高齢者やデバイスを持っていない人にデジタル化の利点を教えてほしい。

A: 紙の手間が省け、最新の情報を簡単に確認できます。又、自治会役員（区長・班長含む）の業務負担の軽減と次世代へつなぐ方法の一つです。特に、災害時の安否確認に有効であることをお伝えいただけると良いと思います。

#### 質問 18

Q: 電子機器での地域回覧の実践例はありますか？

A: 実践している自治会もあります。事例を共有しながら、導入のサポートをします。

#### 質問 19

Q: 誰でも使いやすい仕様になることを願っています。

A: 全国の小中学校が使用しているシステムを導入しています。安心してご利用ください。

#### 質問 20

Q: デジタル化に対して後ろ向きの意見が多いが、どう思いますか？

A: 無理に進める必要はないと思います。メリットを感じたところから少しずつ始めることで、理解と協力が得られるよう努めるのが良いと思っています。

#### 質問 21

Q: 他の自治会の取り組みで参考になる事例は？

A: LINE ワークスでの連絡網作成やデジタル回覧の導入などの事例があります。

#### 質問 22

Q: 紙と電子の二重化が避けられないのでは？

A: 確かにその可能性はありますが、デジタル化に慣れることで、自治会業務の負担軽減と後

継者対策として大切なことだと考えています。

### 質問 23

#### ▼自連協新ウェブサイト内

Q: 新着情報の投稿者の名前がわからない (例: 市スタッフ or 自連協など)

A: 各自治会名になります。

Q: 各自治会の投稿になるか

A: 各自治会の投稿になります。

Q: 各自治会でブログ機能を使用した場合、どのように表示されるか、ブログ機能のページ詳細が知りたい

A: ブログの運用が始まりましたので、新ウェブサイトを確認することができます。

Q: リニューアルされたWEBページにも各自治会のブログ新着情報を掲載していただきたい

A: ブログ新着情報を設置いたしました。

Q: 旧WEBページのように自連協お知らせ、自連協回覧、各自治会の新着情報を設けていただきたい。

A: 旧ウェブサイトのように設置いたしました。

以上です。